

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第30週 (7/24~7/30) 【COVID-19 情報】

令和5(2023)年8月3日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点当たりの報告数は、先週と比べ横ばいとなっています。
- ・年齢別では10歳未満で増加傾向が見られ、10歳代で減少傾向が見られます。保健所別では、東近江、高島保健所管内で増加傾向が見られ、その他の保健所管内では横ばいで推移しています。
- ・昨夏に大きな流行が見られたことから、感染者数が増加することが懸念されます。咳などの風邪症状がある場合はマスクを着用する（咳エチケット）、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。

2. COVID-19の定点当たり報告数（全国は前週）の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数（COVID-19は60）で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。（例：1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33）

疾病名	滋賀県			保健所別							全国 (前週)
	2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
新型コロナウイルス感染症	11.83	15.28	14.90	24.15	9.77	11.43	15.90	13.14	9.43	18.67	13.91

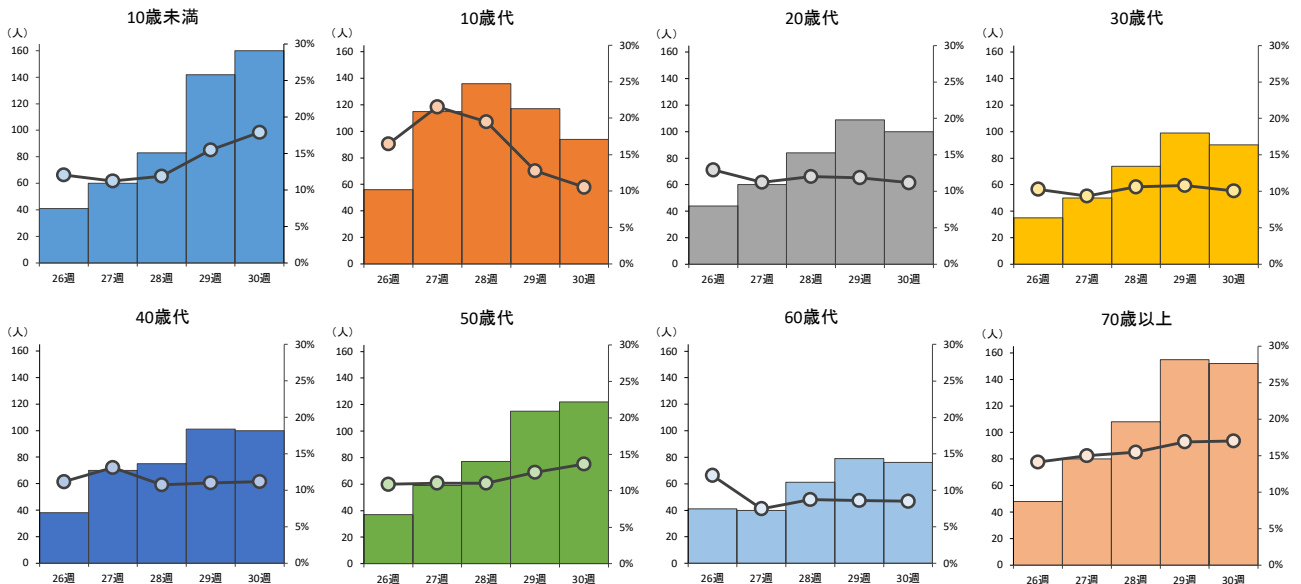
3. COVID-19の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「-」: 報告なし

COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
滋賀県 (60医療機関)	894	17	17	23	11	15	14	7	16	16	15	9	56	38	100	90	100	122	76	63	89
大津市保健所 (13医療機関)	314	2	-	8	2	2	2	-	1	1	3	4	10	15	40	34	45	55	31	21	38
草津保健所 (13医療機関)	127	3	4	3	1	1	2	2	2	2	4	2	8	7	18	21	9	13	4	15	6
甲賀保健所 (7医療機関)	80	1	4	2	1	4	1	-	2	2	1	-	7	-	6	6	8	10	9	3	13
東近江保健所 (10医療機関)	159	6	8	8	2	2	6	3	4	7	4	1	13	6	19	16	14	11	10	7	12
彦根保健所 (7医療機関)	92	2	-	-	1	3	1	-	2	2	-	1	4	5	6	4	15	15	12	12	7
長浜保健所 (7医療機関)	66	3	1	2	3	3	-	1	3	1	1	-	11	2	6	2	3	11	4	1	8
高島保健所 (3医療機関)	56	-	-	-	1	-	2	1	2	1	2	1	3	3	5	7	6	7	6	4	5

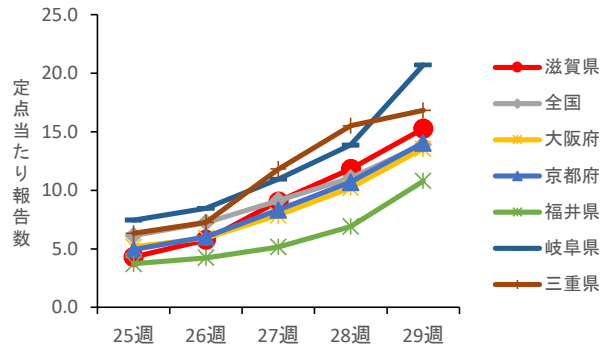
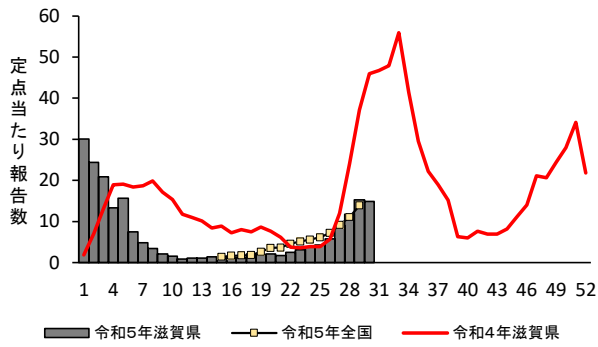
4. COVID-19の年齢階級別推移（滋賀県）

棒グラフ（左軸）：報告数（人） 折れ線グラフ（右軸）：全年齢に占める割合（%）

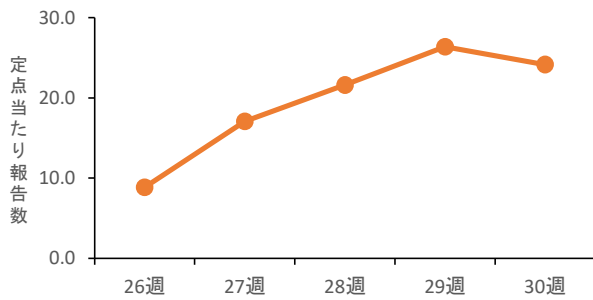


※第28週（2週前）の定点数は、滋賀県59医療機関となっています。

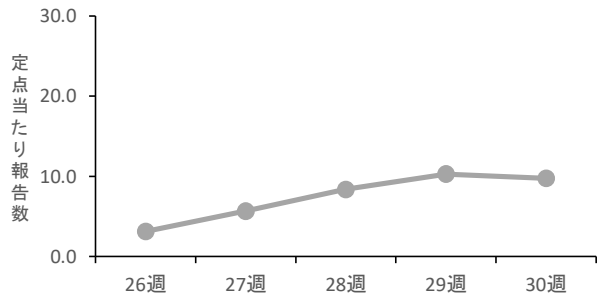
5. COVID-19の発生動向・保健所別推移等 (全国・他府県は前週まで掲載)



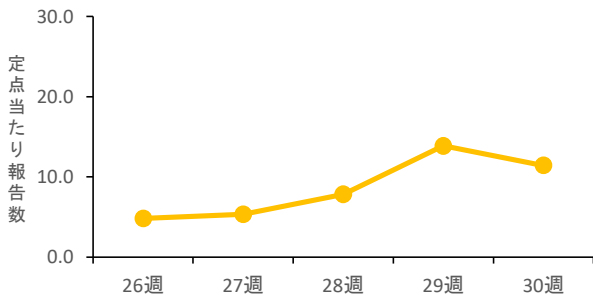
大津市



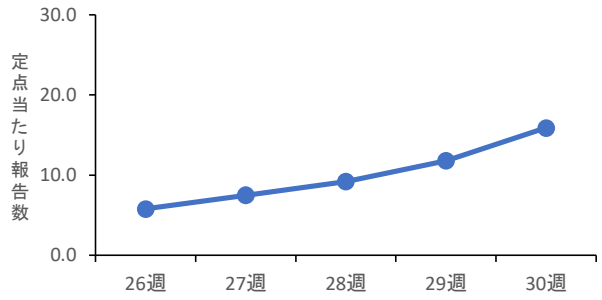
草津



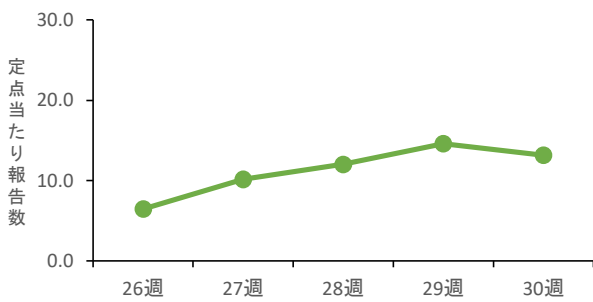
甲賀



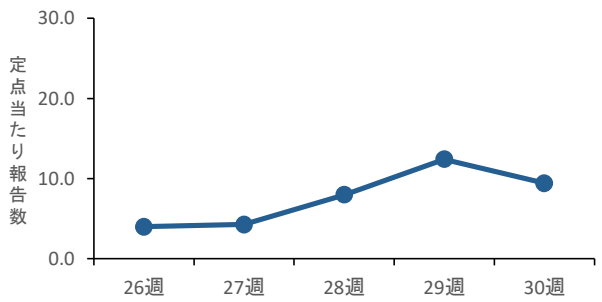
東近江



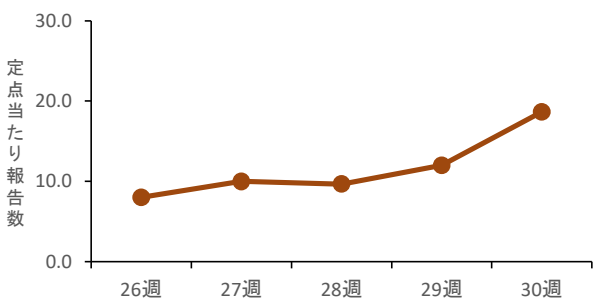
彦根



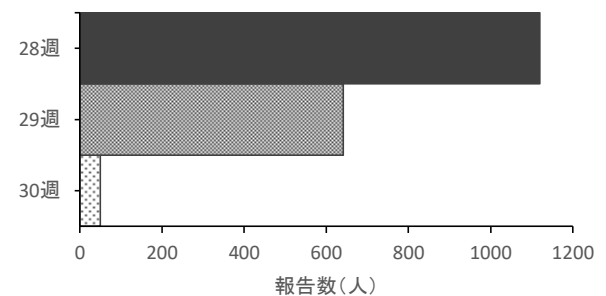
長浜



高島



学校欠席者情報収集システム(滋賀県)



変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課作成
7月30日時点

- 世界的には、XBB.1.16系統が24.1%、XBB.1.9.2系統(EG.5系統含む)が18.1%、XBB.1.9.1系統が13.3%、XBB.1.5系統が11.3%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 153 published 27 July 2023)
- 全国的にはXBB.1.16系統が増加傾向にあり、滋賀県でも令和5年5月にXBB.1.16系統が検出された。
- 滋賀県では、令和5年7月時点ではXBB系統が全体の83.3%(うちXBB.1.16系統は29.2%、XBB.1.9.1系統は20.8%、XBB.1.9.2系統(EG.5系統含む)は20.8%、その他XBB系統は12.5%)を占めており、感染の主流系統となっている。
- WHOは、XBB.1.9.2系統の一種であるEG.5系統を監視中のオミクロン亜系統として指定したが、入院患者数や死亡者数が増加しているとの情報はない。今後の発生動向を注視する必要がある。(WHO adds Omicron EG.5 to variant monitoring as global COVID markers decline further Lisa Schnirring, July 21, 2023)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

